

敬仁 ~Keijin~

新春号

VOL.44 平成28年1月 発行

法人理念

- 1 テンダー ラビング ケア (tender loving care)
「愛」とは、誰かの心に希望の灯をともすことです
自分に何ができるかをまず考えることです
(日野原重明著 テンダーラブ より)
- 2 スローライフ
丁寧を考えること 誠実に対応すること

目次

この年に想うことP2

平成 27 年重大ニュース	P3
新春座談会	P4・5
研究発表会	P6
職員旅行・互助会・運動会・サークル活動...	P7
苦情解決委員会報告・叙勲	P8

【撮影場所】 北海道 キロロリゾート (職員旅行)

社会福祉法人 敬仁会



ニホンザルの目は、さあ今年は
どうなるんだ？と、慎重に賢く
じっと前途を見据えているように
も思えます。

敬仁会の施設は、鳥取、東京合
わせて14施設ともなりました。職
員数は1,040人。ご利用者数は
2,000人ともなります。組織で
すから、むろん大元、根幹の責任
は私にあります。組織の適切な
役割分担をし、責任意識、危機意
識を共有していく。その過程では、
それぞれの管理能力に負う部分は
大きいと考えます。

一人一人がそれぞれ負っている

この年に 想うこと

もの以上の最大限の力を発揮して
着実な成果を上げていく。そして、
その成果の喜びと満足を共に分か
ち合う。

皆の力で、組織が間違った道を
歩かないように努める。間違った
方向に舵を切らない。

これまで同様、細心に大胆に歩
み進み、組織の安泰と活性という
一見矛盾するような様相をも後世
に引き継ぎたいと考えます。

個人的なことを述べることをお
許しく下さい。私事ですが、65歳
ともなり、身辺の状況には色々な
変化が生じ、また自身の知力、気
力、体力などがすべからく落ち、

理事長 藤井啓子



寿命の行く先も段々短くはなるの
ですが、逆に思考は深くなるとい
うか、この年になってからも初め
て考えさせられる事柄や感覚はま
だまだあるんだなと実感します。
今を生きる若い人には何のこと
だ？と不思議でしょうが、きっと
実感する年齢が来るはず。前
へ進めばきっと新鮮で新しい一日
が待っているはず。今を、一
日一日をどうぞ大切に確かに生き
て、それを積み重ねて過ごされま
すよう。
皆様、今年もどうぞよろしくお
願いいたします。

平成27年重大ニュース

◆藤井省三会長 旭日中綬章受章

地域に対する長年の功績が認められ、旭日中綬章を受章された。

◆ル・ソラリオン綾瀬、あやせババール園 開設

東京都内3箇所目となる特別養護老人ホーム及び保育所として平成27年4月1日に開設した。

◆ル・ソラリオン増築及びユニット改修等整備工事完了

平成27年9月に大規模改修工事が完了。75床をユニット型個室と居室の広さを拡大した多床室に改修し、プライバシーに配慮した居室を整備した。

◆ワークサポート琴浦創設・移転

琴浦町徳万に障害者就労作業所を建設し、琴浦町の賃貸ビルから平成27年5月に移転した。

隣接する障がい者グループホーム琴浦との一体運営により、居住・就労の場として地域の障がい福祉の向上に貢献した。

◆介護報酬、障害福祉サービス報酬の改定

介護報酬全体で▲2.27%、障害福祉サービス報酬全体で±0%のマイナス改定。各施設ともに目標に近い数値で推移しており、これまで同様良質なサービス提供できた。

◆介護職員の質の向上を目指した研修の受託

鳥取県より認知症研修、喀痰吸引等研修事業を受託。今年度、認知症研修は525名が修了、喀痰吸引等研修は55名の修了を見込む。県内介護従事者の技術向上に寄与した。

◆3施設が開設10周年

地域の皆様のおかげで、地域ケアセンター マグノリア、救護施設ゆりはま大平園、救護施設よなご大平園が開設10周年を迎え、各施設で記念イベントを開催した。

◆東京地区事業所連携・連絡会発足

東京地区の事業所間の連携強化を図るため、4拠点連絡会を発足した。

ル・ソラリオン綾瀬



藤井省三会長 旭日中綬章受章

平成27年11月3日、藤井省三会長が長年の県議会議員としての功績が認められ、旭日中綬章を受章されました。昭和57年に県議に初当選後、通算9期32年半の間、県政の発展に尽力し、今春に勇退されました。

特に議長を務めた2年間では、強いリーダーシップを発揮され、議員定数の削減や議場コンサート、女性県議会などいくつもの功績を残し、議会の地位を高められました。「受章はこれまで支持していただいた人への恩返し。恥ずかしいものを見ていただけるという誇らしい気持ち」と語られました。

(平成27年11月3日 日本海新聞より抜粋)



認知症介護指導者から見る 敬仁会の認知症 介護について



敬仁会には、認知症介護指導者養成研修を修了された『認知症介護指導者』が、認知症介護の質の向上、人材育成を目的として活動されています。今回は4名の指導者の方々に、敬仁会の認知症介護の取り組み、今後についてお話を伺いました。

認知症介護の先駆的存在 として

森本…敬仁会ではいつ頃から認知症介護の取り組みが始まったのですか。
石川…敬仁会は、昭和58年ル・ソラ

リオン開設当時から認知症の方を受け入れていました。昭和61年から県内の施設職員対象の痴呆老人処遇技術研修(認知症介護研修)を県からの委託により実施しました。

専門医等の講師から学び、様々な症状をお持ちの認知症入所者と共に過ごすことで試行錯誤の介護を続けてきました。

崎上…当時は認知症介護についての情報も少なく、介護をするのは大変だったでしょうね。

石川…当時から認知症の徘徊等に対しても閉じ込めや拘束をするのではなく、本人主体の介護に努めていました。敬仁会は県内の認知症介護の中心的存在であったと思います。

森本…その後、倉吉初の在宅介護支援センターを受託運営していたと聞きました。

石川…平成6年に開始しましたが、この頃から認知症の方を在宅で介



介護老人福祉施設
ル・ソラリオン名和
石川裕子施設長

護をしていくための支援が本格的に始まりました。在宅介護支援センターには緊急通報システムを設置しており、また介護用品の展示室もあったため、民生委員、地域の方等多くの見学者がありました。施設・在宅介護・個別の支援に関するいろいろな情報発信やの中心であったと思います。

ご利用者の生活支援

矢間…私が敬仁会に入職したのは平成16年で、在宅支援をするための大規模な多機能サービス施設マグノリアの開設に携わりました。今までの支援に加えて、ご利用者から住み慣れた地域や住居で暮らすことの重要性を学びました。環境を整えることや家族とのつながり方を大切にすることで、認知症の方がより安心できる支援の提供が可能になると思います。

森本…ところで、矢間施設長は歯科衛生士としての経験が長かったようですが、認知症ケアとの関連はどうでしょうか。

矢間…専門職として思うことは、認

知症が重度になり食べられなくなつた時の支援はまだ不十分な部分があると感じます。専門職が協力すればもつと食べる楽しみが増えると考えています。食欲がなくなること自体が生活のハリを失っていく、生活のリズムが崩れていきますので、まず食生活を支援することが健康に暮らす秘訣だと思います。



介護老人保健施設
ル・サンテリオン
矢間やすみ施設長

地域住民のニーズの変化

矢間…森本課長もマグノリアで働いています。在宅支援についてどう考えていますか。

森本…私はマグノリアの地域包括支援センターにて認知症連携担当者でしたが、在宅で介護をされている方が多くいると感じました。また、在宅で求められているのは、昔は介護技術でしたが、今は認知症予

防だと知りました。地域で認知症を早期発見し、認知症の方を支えていくにはどうしたらよいかという要望が多いです。在宅支援の段階で認知症の方々に元気になってほしいと思います。

矢間…大切な人が認知症の病気であるために戸惑い、生活が上手くいっていない家庭も少なくありません。在宅サービスを使ってもうまくいかない場合は、施設の専門職の力を利用してもよいのではないのでしょうか。新たな関係性をつくることで、ご利用者が自信を取戻して生活を送られる場合もあります。

石川…在宅介護だけでなく、いろいろな選択肢の生活があることを知ってほしいと思います。

職員教育の必要性

森本…石川施設長は東京にある施設でも勤務されていましたが、東京の状況はどのようなものでしょうか。

石川…東京は認知症介護研修等の受講希望者が多く、なかなか受講できない現状があります。そのため、

施設によってサービスの質の格差が大きいと感じます。介護の人材不足、需要と供給のバランスがとれていないことが質の向上の妨げになっているのではと感じます。より良いサービス提供を目指す人は、施設内外の研修に積極的な施設を探し転職しています。敬仁会は研修に力を入れていますが、「介護の仕事は面白い、やりがいがある仕事である」とアピールすることも大事ですね。

森本…敬仁会は「職員研修の体制が充実しているから入職した」という職員が結構いると聞きましたが、今年度新たに認知症介護指導者養成研修に参加された崎上課長はいかがでしょうか。

崎上…私は今年認知症指導者養成研修に鳥取県の代表として参加させていただきました。参加してみて、指導者としての責任の大きさを感じました。自分で学ぶ意欲や知識、情報を得る努力がもっと必要だと学びました。また、教える立場とし



介護老人保健施設
ル・サンテリオン東郷
崎上麻衣子課長

て自分が話す内容がどれだけ相手に伝わるか皆で話し合うことで客観的に見る事ができたと思います。

矢間…相手に伝わる、相手が気づいて行動してもらえようような指導が大事ですね。

石川…認知症の研修は、座学と実践が連動し、個人とチームが共に成長できるような構成としています。

ご本人・家族・各関連担当者等が立場を超え皆で議論をし工夫していくことが、より良いサービスの提供につながるのではないのでしょうか。私たち指導者は、職員にとって困難なことがあっても認知症介護を楽しみながらやれるようサポートしていきたいと思っています。

矢間…これまで積み上げた経験を伝えていくことが私たちの役目だと思います。

今後に向けて

森本…ここまでいろいろとお話を伺ってきましたが、これからの敬仁会が目指すところについていかがでしょうか。

石川…今後は今まで以上に地域に根

付いていくこと、専門性を高めることが必要です。医療と連携した医療・福祉専門の研究活動、データ分析のほか、認知症の方を在宅支援から施設支援・看取りまで多方面から支えた事例を伝えらるか。敬仁会はその発信できる法人であると思います。

矢間…ISOの仕組みを活用してみんなで改善していく流れや、まずやつてみようという考え方は、「テンダーリングケア 自分に何ができるかをまず考えることです」という敬仁会の理念に基づいたとてもよい風土だと思います。敬仁会はまだまだサービスの質も種類も足りませんが、この理念に則って、質の向上を目指していきたいと思っています。

森本…対談をして、自分たち指導者もまだまだ職員と共に学んで成長していかないと感じました。そして学んだことを支援としてご利用者にお返ししていきたいと思いま



地域ケアセンターマグハリア
森本勤子課長

第 16 回 施設研究発表会開催

平成 27 年 11 月 14 日に、恒例の研究発表会が開催され、今年は 19 テーマの発表がありました。外部機関から発表会を聞きに来て下さる方も年々増えており、職員も良い緊張感に包まれながらの発表となりました。こちらでは発表内容の一部をご紹介します。



発表会の様子

「臨床美術」

「気づく想い・伝わる想い
そして変わる生活」

ル・ソラリオン名和

大西真理子・杉山吉恵

井澤ゆうか(臨床美術士)

【はじめに】

ル・ソラリオン名和では、昨年度よりデイサービスで認知症ケアの新しい取り組みとして、臨床美術をはじめました。臨床美術とは、アートを用いたセラピーです。触る・匂いをかぐ・味わうなど五感を使って描くことで、右脳が活性化され、認知症の症状を改善する事を目的としています。

【講座の流れ】

- ①講師が一人一人とあいさつを交わり握手をしながらその日の体調や症状の変化を観察。
- ②野菜・果物・花などの題材に触れたり食べてみたりして五感で体験。
- ③作品が完成したら鑑賞会。
- ④講師が一人一人の作品を紹介し、いいところを褒める。最後に握手をして講座終了。

今回、半年間で変化が大きく現れたご利用者の事例をご紹介します。

【事例紹介】

A 氏 89 歳 介護 4 アルツハイマー型

認知症 糖尿病

初めは表情が硬く、握手をしようとする腕を組んで拒まれました。色を選ぶ場面でも「わからん」と選ぶことが出来ず、職員が選んだ色を使ってもらいましたが、次第にやり方を理解され、自分で「よし」と色を塗り始められました。講座に通ううちに、簡単な声かけだけで、工程を理解し、作品のバランスを見ながら自分で手を加えられるようになりました。

日常生活においては、半年前は何事にも声かけ・介助が必要でしたが、現在自分の思いを伝えられたり、車椅子で行きたい所に進むことができるようになりました。



【臨床美術を通して】

●職員の効果

- ・本人の生活歴を、より理解することができた。
- ・本人の興味を引き出す働きかけができた。

・作品を残す事で、他職員・家族と本人の思いが共有できた。

↓職員の関わり方が変わる

(その人らしさを取り戻すケア)

●ご本人の効果

・認知症重度の方でも自己表現ができた。

・不安が強かった方が、自信を持って話したり、楽しく会話することができた。

↓本人の出来ることが増える

←ご利用者の生活が変わる

【今後に向けて】

今回は、半年間という期間に絞った発表でしたが、今後継続していく中で、様々な変化が個人個人のペースであらわれてくる事が予想されます。

今後も臨床美術参加ご利用者の生活を見守るとともに、臨床美術を通して学んだことを活かして、その人らしさを大切にしたケアをしていきたいです。

活力ある職場作りを目指します

敬仁会では、職員福利厚生を目的とした様々な取り組みを行っています。ここではその内容をご紹介します。

互助会 親睦会

職員・家族間の親睦を深めるため、様々な行事を行っています。



グランドゴルフ大会



陶芸体験



ソフトバレー大会



りんご狩り

職員旅行

約 10 コースの海外・国内旅行から好きなコースを選んで参加しています。



高知コース

吉野川でラフティングをしました。楽しい～！

信州コース

シンガポールコース



白樺湖のコスモスがとてもきれいでした。



マーライオンや大観覧車から街を望む景色は感激でした。

サークル活動

敬仁 powers (野球)



毎年鳥取県東伯郡湯梨浜町のナイターリーグに参加しています。4 連覇に向けてがんばります。

敬仁 FC (フットサル)



今年発足した新しいサークルです。週に 1 回集まって楽しく練習しています。

もっと引っ張れ～



運動会

毎年 10 月に、関連法人と合同で運動会を開催しています。家族も参加して盛り上げられます。

今年も 1 位だ～！！



バナナ 3 本食べるの大変だ



お菓子は何がもらえるのかな



お母さん、お父さん頑張っ～

平成27年度上半期 苦情解決委員会開催

11月27日(金)に法人苦情解決委員会が開催されました。第三者委員の方々よりいただいた貴重なご意見を紹介いたします。

◆第三者委員より◆

- ・報告・連絡・相談が出来ていないことによる苦情が多くなっている。
- ・報告は遅れることで効果が薄れ、誤解を生じる。話し手と聞き手のとらえ方が異なるという問題は起きてしまうものだが、相手の立場に立って話すことが大切。
- ・「大丈夫ですよ。みなさん同じような人なので」は安心させる言葉ではなく、また、個人を尊重するものでもない。よいと思って使用している言葉が、実際はよくないこともある。立場が違うことを理解することが大切。
- ・虐待報道は、自分たちを振り返って、考えるきっかけである。
- ・引継ぎ、コミュニケーション、信頼関係の構築が重要であり、うまくいけば、苦情は少なくなっていくと思われる。

平成27年度 上半期苦情受付結果

苦情内容	職員の接客サービス	35件
	サービスの質や量	9件
	利用料請求等の事務処理	2件
	説明・情報提供	13件
	権利侵害等	3件
	金銭管理等	0件
	施設・設備等	11件
	その他	13件
	合計	86件



- ・多忙により、ケアの丁寧さに欠ける場合もあり、接遇の悪さが気になった。
 - ・職員のストレス対策も必要。
 - ・多忙でも2秒ぐらい考えて対応することで、随分違うと思う。2秒考えてみる余裕を持つこと。
 - ・職員間でも世代が違えば言葉、感じ方等違いがある。
- 苦情とは、現在のサービスの在り方を見直すための貴重なご意見です。
いただいたご意見をもとに、改善につなげていけるよう、今後も意識して取り組んでまいります。

【叙勲】瑞宝単光章 授章



ル・ソラリオン名和
石川裕子施設長

1983年に敬仁会に入り32年、この間たくさんの高齢者やご家族の方々に出会い私自身成長させていただいたと思います。

特に明治生まれの気骨な方々からは、戦前・戦中・戦後を生き抜いて来られた様子を直接伺い、生きていくことを歴史とともに教えて頂きました。そして老いて障害をもち、やがて最期の時を迎えることや「家族」について等、多くの学びを得ました。現在まで、様々な施設を経て再びソラリオン名和の施設介護現場で、一緒に仕事をさせていただいたたくさんの方の仲間がいたから、この仕事を続けて来られたと心から皆様に感謝しています。

この度受章させて頂いたことは身に余る光栄であります。これからも微力ながら職務に精進していききたいと思います。

※瑞宝単光章とは…公共的な業務に長年にわたって従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与するとされています。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
今年は申年です。「申(サル)」は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」など幸せを運ぶものと言われています。
また、申は本来「しん」と読み、「のびる」という意味があるようです。
昨年は未熟な部分が多かったのですが、今年はいろいろなことにチャレンジし、来年に向けてみのり(西)ある1年にしたいと思います。
(あお)

社会福祉法人 敬仁会

鳥取県倉吉市山根 55

TEL(0858)26-3864 (代) FAX(0858)26-3876



地域ケアセンター	マ グ ノ リ ア	倉吉市上井町1丁目2-1	TEL(0858)26-3922
介護老人福祉施設	ル・ソラリオン	倉吉市山根 55-3	TEL(0858)26-0115
介護老人福祉施設	ル・ソラリオン名和	大山町西坪 520-1	TEL(0859)54-6500
介護老人福祉施設	ル・ソラリオン葛飾	東京都葛飾区青戸 4-16-7	TEL(03)3601-3711
介護老人福祉施設	ル・ソラリオン西新井	東京都足立区西新井 3-14-3	TEL(03)3899-3005
介護老人福祉施設	ル・ソラリオン綾瀬	東京都足立区東綾瀬 3-9-1	TEL(03)5613-1176
介護老人保健施設	ル・サンテリオン	倉吉市山根 55-233	TEL(0858)26-3051
介護老人保健施設	ル・サンテリオン東郷	湯梨浜町野花 443-1	TEL(0858)32-2570
障がい者支援施設	敬仁会館	倉吉市山根 55-39	TEL(0858)26-0480
救護施設	ゆりはま大平園	湯梨浜町長和田 1835-1	TEL(0858)32-0780
救護施設	よなご大平園	米子市二本木 1690	TEL(0859)56-6226
保育所	パパール園	倉吉市山根 425-3	TEL(0858)26-0211
保育所	あやせパパール園	東京都足立区東綾瀬 3-9-1	TEL(03)5613-8851
養護老人ホーム	シルバー倉吉	倉吉市福庭町2丁目145	TEL(0858)26-0821